

東日本大震災・原発事故から3年

今もなお全国で27万人が避難生活
9万人が仮設住宅での生活
中野区内にも400人以上が避難生活中

2014年3月11日。東日本大震災および原発事故から丸3年となりました。汚染水は漏れ続け、原発事故の究明すらされていません。今もなお、27万人を超える被災者が避難生活を余儀なくされ、そのうちの9万人以上がプレハブなどの仮設住宅での生活を強いられています。震災関連死が3000人になるなど、避難生活はがまんの限界ともいえるべき状況です。中野区内にも宮城・福島など6県から400人を超える方が避難し、生活されています。4月からの消費税増税や「国土強靱化」の名による大型開発優先が被災地の復旧工事の障害になっています。住まい・生活・生業を支援する、被災者に寄り添った対策が求められ続けています。

第6次東北被災地支援 7月中旬頃を予定

これまで5回にわたり、地域の皆さんのご協力をいただきながら、宮城県石巻市内の仮設住宅へ物資などをお届けする支援を継続することができました。次回は7月中旬頃を予定しています。引き続きのご協力、よろしくお願い致します。



▲3・9 NO NUKUES DAY 原発ゼロを
求める国会周辺での大アクションには、
3万2千人が参加。私も地域の方と参加
しました。



▲昨年11月に伺った、仮設蛇田中央団地

春をよぶつどい 区政報告会&語る会を開催!

会場いっぱいのご参加、ありがとうございました

3月9日(日)午前、商工会館にて「春をよぶつどい 区政報告会&語る会」を開催。初めて参加して下さった方も多く、会場は60名を超える皆さんでいっぱいになりました。「中野駅前の開発ではなく、身近な区民の声をもっと聞いて欲しい。」などの声が寄せられました。

参加者より

この日は晴天なるも低気温の寒い日でした。着席すると温かい御茶が運ばれ一杯の御茶で身も心も『ほっこり』しました。区政報告、東日本震災復興支援の継続について浦野区議から、続いて、植木こうじ都議の話、宮本智さんの抱負、質疑応答と時間があっという間に過ぎました。南米音楽演奏では、ケーナ・オカリナの哀愁帯びた音色、迫力有る力強い演奏と歌声と、アンデス山脈が迫って来るようでした。肩肘の張らない楽しい区政報告でした。(上高田在住・女性)



▲浦野さとみ区議・植木こうじ都議から区政・都政について報告



▲宮本智(さとみ)弁護士が挨拶、区政転換への思いを語りました



▲最後は、フォルクローレ(南米民族音楽)の演奏

弁護士による無料法律相談も実施中です
(毎月第2・4水曜日)。お気軽にご相談下さい。



日本共産党
中野区議会議員

浦野さとみの区政報告 No.44

ほっこり通信

何でも無料生活相談実施中!

- e-mail: urano@jcp-seven.jp
- 携帯電話: 090-8049-4784

●ホームページ

浦野さとみ 検索

●Twitter: @urano_satomi

●Facebook: 浦野さとみ

聞かせて、
あなたのこと、
街のこと



命・くらしイチバンの区政へ

福祉・教育後退の田中区政から転換を!

change!!

3期12年、田中区政のもとで、障がい者2種手当の削減、学校の統廃合、児童館や高齢者福祉センターの廃止など、福祉や教育は大きく後退しました。

新年度予算の中でも、木造住宅の耐震補強工事助成や給食食材の放射線量測定などの区民の切実な要求には背を向け続けています。さらには、認可園保育料の大幅値上げや、必要な職員を採用せず、戸籍・住民分野や介護保険等の窓口業務委託をさらにすすめようとしています。一方で、中野駅周辺の大規模再開発は聖域化しながら、今後、区役所とサンプラザを建て壊しての一体的な再開発を区民合意なしに押し進める計画です。6月は区長選挙がおこなわれます。区民の命・くらしを守る区政への転換が求められます。



▲来庁者の安全は十分確保されている区役所を移転させ、サンプラザとあわせ、一体的な再開発を計画

今後、計画されている中野駅周辺再開発

- 中野駅西側の南北通路・橋上駅舎・駅ビル誘致
 - 中野三丁目駅前広場整備 ●南口・新北口駅前広場整備 など
- ※なお、今後の再開発にかかる経費は明らかにされていません。

基金の積立ては400億円

区の基金(貯金)総額は400億円です。区民のくらしが大変ないまこそ、この活用が求められます。

自らの公約を反故に

田中区長は、自ら提案した「区長の在任は3期まで」とする多選自粛規定を削除する条例を提出。4期目への出馬も表明しました。本条例には、自民党、公明党、無所属の石坂区議が賛成し、可決されました(みんなの党は退席しました)。

こんなの、アリエナイ!!

新年度予算に関連して、予算特別委員会での総括質疑ハイライトをお届けします。

1 区立小学校 さらなる介助員の配置を

区立小学校の通常学級に在籍する、特別な支援を必要とする児童に対応するために介助員が配置されています(全小学校25校中、11校に配置)。しかし、現場の学校や保護者からは、もっと介助員を増やして欲しいという声が多くあがっています。来年度から全小学校に1名ずつ配置されるとのことですが、各学校

の状況や現場の声を丁寧に把握しながら複数配置を検討すべきこと、また、介助員の研修体制などの充実を強く要望しました。



▲介助員が配置されている平和の森小学校でも、介助員を増やして欲しいという要望は強い

2 区民と接する窓口は職員でこそ

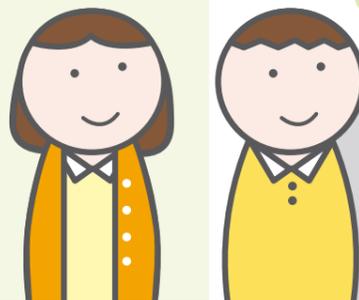
2012年7月から、国民健康保険窓口の一部を業務委託(国保の加入・喪失、保険料の収納、未納保険料の納付など)しています。新年度はさらに、戸籍住民に係る入出力等や介護保険窓口等の業務委託が予定されています。しかし、窓口は区民と職員の接点として大事な場です。職員が区民の生活実態を把握し、相談内容によっては他部署との連携も必要になるため、職員定数削減ありきでの委託化の推進は、区民サービスの後退にもつながることを指摘し、改善を求めました。

部分的な業務委託は、「偽装請負」の疑いも懸念されるんだよ。



4 家賃補助対策を

住まいの確保は、人が安心して生活していく上で、基礎となる大事な問題です。区として、低所得者・高齢者・単身者などへの住まい確保、具体的な支援計画を持つべきです。中野区は、特に単身若者世代の転入・転出の変動が大きくなっています。新宿区などで行っている家賃補助制度なども検討すべきということを求めました。



補助があったらすごい助かるよね。

新宿区の家賃補助制度

注! check!

区内の民間賃貸住宅に住む世帯の家賃を助成することで負担を軽減し、定住化の促進を目的としています。学生及び勤労単身者向けと、子育てファミリー世帯向けがあります(申込み資格はそれぞれあります)。

| 区分 | 学生及び勤労単身者向け | 子育てファミリー世帯向け |
|------|-------------|--------------|
| 助成額 | 月額1万円 | 月額1万円 |
| 助成機関 | 最長3年間 | 最長5年間 |

3 ガソリン券の開始で障がい者の社会参加促進を

障がい者の方の社会参加をすすめていく上でも、タクシー券もしくはガソリン券を選択できる区が増えていきます。当事者からも毎年、要望が出されていますが、中野区ではガソリン券を実施していないため、その実施を強く迫りました。

タクシー券・ガソリン券って何?

身体障害者手帳・愛の手帳をお持ちの方で、条件に該当する方が対象となる、タクシーやガソリンの回数券や助成のこと。

ガソリン券は、23区中、21区で実施

実施していないのは、葛飾区と中野区ですが、葛飾区では心身障害者の福祉手当に外出支援分として上乗せで支給しているため、実質、中野区だけが実施していないことになります。



▲2/27予算特別委員会で質疑する浦野さとみ区議

※その他、2015年度の介護保険改正において介護難民を出さないことについて、住民参加のあり方について、就学援助の周知方法の改善などについて、質疑をおこないました。

売却…転貸…区民財産を次々と……

区は東中野小跡地の約3分の2を売却する方針を示しました。これには、地域住民から、売却ではなく、地域のために活用をという声が出されています。また、区民の環境活動の拠点であった旧環境リサイクルプラザでは、環境事業者に施設を貸し出すことで、地球温暖化防止の拠点にすると説明していたにも関わらず、最終的には、「一定の環境に配慮」していればいいという貸し付け条件にし、(株)千雅へ昨年4月から月200万円の賃料(5年契約)で貸し付けました。同社は、1階で通所介護施設などの事業を行う予定でしたが、施設改装に費用がかかる等の理由から、なんと、飲食店を入れることに。しかも、グループ会社に転貸するとのことにも明らかになりました。もう、こんなメチャクチャな話はありません。賃料収入さえ入れればいいという、区の姿勢が厳しく問われます。(その後、事業者からは、やはり介護事業をという話に戻ったようですが、未だ開設はされていません!)

こんなの、ひどいわ! どうなってんのよ!!



▲月200万円で賃貸している旧環境リサイクルプラザ(中野5丁目)

傍聴者の声

浦野区議の質問はじめて傍聴しました。落ち着いて、区役所側の区民に冷たい答弁に道理を尽くして、区民の立場から追及した質疑でした。障がい者のガソリン代補助をしないこと、旧環境リサイクルプラザを又貸しすることなど、田中区長の区民無視の姿勢がよく分かりました。また、委員会傍聴席の少ないこと、区役所の姿勢を監視する為に多くの区民が傍聴しなくては、と思いました。(上高田在住・男性)